

半島エリアの利用及び整備の方向性について

■ 利用区域について



【半島エリア現況】



① 最上段
最上段は広く、大きなコナラが複数見られる



② 一段下
1 段下はやや狭く、大きな樹木が少ない



③ 2 段下
1 段下～2 段下の法面高さは低め。



④ 3 段下
3 段下は比較的広い。各段ともにササ刈が必要。法面の樹木に枯れ枝あり

■ 利用の方向性について

【日常利用】・散策

- ⇒ 利用に必要な整備：○休憩するためのベンチ
○棚田間を行き来するための階段

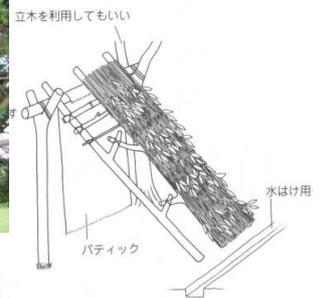
【プログラム利用】・自然を利用した「遊び」プログラム

- ⇒ 利用に必要な整備：○プログラムに必要な資材を運搬する通路
(鋸等の道具類や枝にロープを張るための梯子等の運搬)

★プログラムイメージ

①木のぼりをしよう

- ・自然の樹木に登る
- ・枝にロープや手作りはしごをかけて、樹木に登る

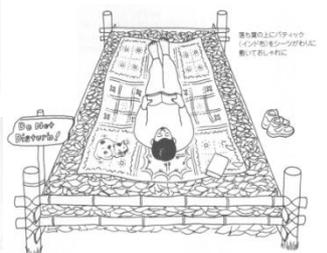
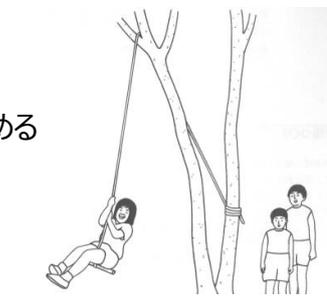


②秘密基地をつくらう

- ・既存樹木と竹、枝葉等を使いシェルターをつくる
- ・秋の郷遊びで制作した「竹テント」

③竹ですべり台をつくらう

- ・棚田の段差を利用し、竹ですべり台をつくる
- ・段ボールなどの敷物を敷いてすべる



④落ち葉ベッドを作らう

- ・竹や落ち葉でベッドをつくる。みんなで落ち葉を集める

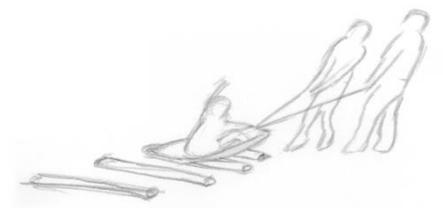
⑤手製ブランコを作らう

- ・樹木の枝下に手製のブランコを設置する



⑥丸太の上でそりを引っばらう

- ・丸太や竹を一系列に敷き並べ、その上にロープがついたそりや竹いかだを置く。1人がソリ等に乗る、他の人がロープを引っ張って動かす。



- ⇒ 具体的なプログラムについては、次回以降に検討する

【日常維持管理】・樹木の間伐・枯れ枝落とし、竹の伐採

- ⇒ 維持管理に必要な整備：○伐採した竹や間伐材の運搬や処理をするためのチップパーやキャリアーが通行する管理用通路

■スケジュールイメージ

	平成 29 年度	第 1 段階	第 2 段階以降	将来
利用	★大学や他団体等、「遊び」プログラムの連携先の模索 ・「遊び」内容の検討	・散策利用 ・「遊び」プログラムを実施するための講習会等実施	・散策利用 ・「遊び」プログラムの実施 (プログラムで作成したものはその日のうちに撤去)	
整備・維持管理	チッパー・キャリアを通行させるためのルート整備 ※業者発注	・バックホウにてスロープづくり ・最上段～3 段下までの間伐作業 ・ベンチ等作成	・樹木維持管理 ・竹伐採作業	・4 段下～鼻先までの放置竹のチップ化

■アクセスルート（案）



・休憩所から至るルートは、休憩所から途中まで、平坦な道であるが、以降、傾斜地形の中を縦走する。チッパー等を通すためには、向井池の水際の樹木伐採、造成、擁壁等が必要となり、景観や整備費への影響が大きい。

⇒ **休憩所からのルートは、歩行者用ルートとする。**

・ため池横を通るルートは、現在特に池は利用されておらず、通路を拡幅すれば、チッパー等も通行可能となる。ルート距離が短く、ほぼ平坦なので、少ない工事で済む。

⇒ **ため池横を通るルートは、歩行者用ルートと維持管理用通路を兼用するルートとする。**

